

小浜日吉区防災マップ 計画規模

避難情報など		防災気象情報
警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 小浜市が発令
警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令 小浜市が発令
警戒レベル 3	避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 小浜市が発令
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 気象庁が発令
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 気象庁が発令

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5 では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3 や 警戒レベル4 で、地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に全員避難しましょう。

小浜市防災メール bousaiobama@entry.mail-dpt.jp
避難等に関する情報は小浜市防災メールに登録すると便利です。左のQRコードから登録して下さい。避難情報や避難所開設情報などが配信されます。

凡例

避難所

避難場所

A E D

病院



立退き避難が必要となる家屋等の表示（マーク）

● 計画規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋

● 最大規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋

●●マークがついていない家屋

原則、避難の情報が出された時は、指定された避難場所へ避難してください。逃げ遅れたり周囲が危険な状況の時は、2階以上の場所で安全を確保してください

計画規模の降雨とは、概ね30年から100年に1度程度の確率で発生する降雨により河川が氾濫した場合の、浸水域および浸水深を表しています。最大規模の降雨とは、概ね1000年に1度程度の降雨を想定しています。

適切な避難行動

避難の種類と行動 避難行動には、①避難所や、近隣の安全な場所（近隣のより安全な場所・建物など）への「立退き避難」、②「立退き避難」をすることで危険な場合は、その時点で居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、③2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。

1 立退き避難（水平避難） → 避難所 → 避難場所

2 屋内安全確保

3 垂直避難

避難時の心得

火の元（コンロ、暖房器具、タバコ、線香など）と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。

深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

大雨によって発生する災害・被害

内水氾濫 下水道や水路などがあふれて起こる。大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」といいます。

外水氾濫 河川が氾濫する。大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」といいます。

道路の冠水 エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下・床上浸水 流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

家屋の倒壊 河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。

小浜日吉区の津波避難について
日吉区は、最も近い市指定津波避難場所である八幡神社まで約300m（徒歩約5分）です。移動が困難な方や、すでに津波の到達が始まっているなど、緊急の場合は小浜コミュニティセンターの外階段（上写真）を利用して安全を確保して下さい。